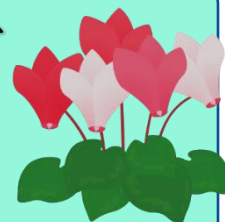




# 看護実践・キャリア 支援センター通信



2019年  
12月



## 看護キャリア支援事業 育児休業者の復職支援サロン



# Vol.18

9月9日・13日・20日、育児休業中の看護師を対象に復職支援サロンを開催しました。

出産後の復職にあたって、制度や働き方について一人で考えこんでいけば不安が大きくなっていきます。サロンでは不安解消のため、人事や看護師教育について、担当部署から利用できる制度の説明が行われました。自分のこれからに関わる内容に、参加者の表情はみんな真剣でした。

また、昼食時間を利用して育児休業取得後に職場復帰して



人事課から制度の説明を受けます



先輩の実体験も参考になります

いる先輩看護師との意見交換の場を設けました。

参加者からは実際にどういう制度を利用したのか、どんなことに困ったか等、気になるところを気軽に聞くことができたという好評でした。

出産後の職場復帰には色々な形があります。多様な意見を聞くことで、納得のいく働き方の選択の後押しになればと思います。



## 新人看護職員対象 音楽療法のひととき



音で会話をしてみたり…

きました。また、講師から聞く患者・家族の体験から「看護師のあたたかい対応で救われた患者もいる」といった内容に新人看護師として看護を見つめ直す機会にもなったようです。

入職して半年が経ち、任される仕事も増えていく新人看護師たち。「いつの間にか笑っていた」というひと時で、気持ちが少し軽くなったようです。

音楽を利用して心を動かす—9月27日・28日、音楽療法士事務所「音縁」の音楽療法士、西村仁美先生・岡本美代子先生を講師に迎え、音楽療法を体験し、新人看護師の心身のリフレッシュを図りました。

各自が手に取ったハンドベルでコミュニケーションを取った後、振りをつけながらみんなで歌を歌ったり、音楽に合わせて楽器を鳴らしたりする中で、笑顔が広がって



音楽に合わせて体を動かしてみたり…



## 第 1 回奈良医大特定行為フォーラム



### フォーラム



病院長の挨拶

9月29日(日)、看護師の特定行為や特定行為研修をより広く知ってもらうため、橿原市コンベンションルームで「第1回奈良医大特定行為フォーラム」を開催しました。参加者は、約100名となり、特定行為への関心が高いことがわかりました。

「特定行為」とは、看護師が医師の判断を待たずに手順書により行う一定の診療の補助(例えば脱水時の点滴など)のことで、38行為が定められています。

フォーラムは3部構成で、第1部では近畿厚生局と県の担当部局の方に特定行為研修の制度や県の支援策について詳しく説明していただきました。第2部では麻酔科の川口教授を座長として修了生4名による事例発表と高橋看護部長も交え意見交換会を行い、特定看護師の働き方等について様々な意見を交わしました。第3部では当センターの担当者が本学の特定行為研修と募集についての説明を行いました。

充実した内容の2時間半で、会場の熱気が最後まで続きました。

今後このような催しを継続して開催し、特定行為の更なる周知と特定看護師の養成を図っていきたいと考えています。

この様子が奈良テレビ放送「県政フラッシュ」で10月1日に報道されました

### 第1部講師



近畿厚生局 西田氏 県福祉医療部 永田氏



満員の会場



## 「信頼関係構築のための基礎知識・技術」研修



看護の現場では、患者やその家族との信頼関係が大切です。

この信頼関係構築のための基本を修得し、看護につながるステップとして活かすため、10月から全6回コースで「信頼関係構築のための基礎知識・技術」研修を開催しました。奈良県立医科大学精神看護学の風間眞理教授を講師に迎え、第1回では自分以外の人の自己紹介からキーワードを抜き出したビンゴをつくることで「相手に関心を持つことから広がる同感・共感」などを体験し、第2回では対人関係のパターンと相手の存在を認める「ストローク」を学ぶなど、毎回様々な演習を通して信頼関係構築のためのコミュニケーションについて学びました。

全6回を受講した臨床実習指導者からは、「自分がどのような人間なのか、家庭内での立場、自分を知ることによって相手との関わり方も変化すると気づくことができました」等、改めて自分自身を知る大切さを実感できたとの感想を頂きました。

この学びが臨床での実践で活かされることを期待します。



相手を知ること、自分を知ってもらうこと(第1回)



「家族の中の私」で自分自身を知る(第4回)





## 地域貢献研修 ICLS（日本救急医学会）コース



11月3日（日）、日本救急医学会と本学の共催で第15回ICLSコースを開催し、12名が受講しました。ICLSとは、“Immediate Cardiac Life Support”の略で、心肺停止時にimmediate：すぐに必要とされる医療者としてのスキルを学ぶ研修です。受講者に感想をお聞きしました。

### 【受講者（川本さん）の感想】

私は入職から5年間、脳神経内科・口腔外科・ペインクリニック科の混合病棟で勤務しており、心停止等の急変には遭遇したことがありませんでした。そのため、急変時対応を実践的に学びたいと思い、初めてICLS研修コースに参加させていただきました。他の参加者とチームを組んで行ったロールプレイングにて、リーダー役を担った時にどのようにメンバーに指示を出せばよいのか分からなかった私に、インストラクターの方が丁寧に指導して下さったことで急変の場面だけでなく、急変時以外での日々のリーダーを担う場面でのリーダーの在り方について理解することができました。また、何度もロールプレイを行うことで、今まで急変の場面に遭遇する事を「怖い」と感じていましたが、研修終了後には自分の知識と技術に少し自信を持つことができました。



蘇生のチームで必要な事は…



## 地域貢献研修 摂食嚥下障害看護研修



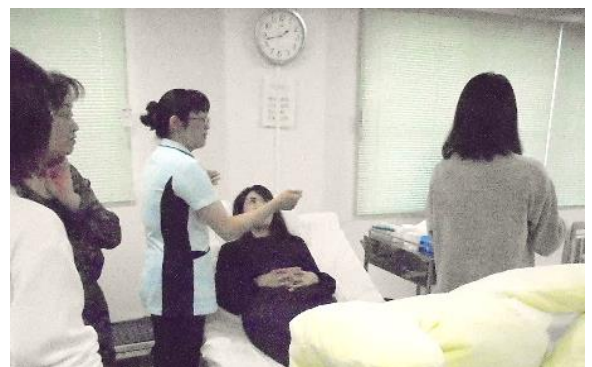
11月16（土）、当院の摂食嚥下障害看護認定看護師、長谷川陽子氏を講師に、摂食嚥下障害看護の研修を行いました。演習を多く取り入れ、体験を中心とした研修内容でした。

### 【受講者（平井さん）の感想】

嚥下障害とは食べ物を判断して食べ物を口に運び、口に取り入れ、咀嚼し、飲み込むまでの全ての工程の障害です。摂食嚥下リハビリテーションの目標は患者にとって安全で最善の食事形態で食べられることであり、この目標を達成するには口腔周辺の解剖や嚥下機能の仕組みを知る必要があることを学びました。この研修で一番印象に残っているのは口腔ケアを実際に患者側として体験できたことです。保湿ジェルをたくさん塗られると気持ち悪かったり、手袋のゴワゴワやスポンジブラシが上あごを擦る感覚に違和感を覚えたりしました。この演習から普段自分が何気なくしている行動がどれほど患者に影響を与えていたのかがわかりました。この研修で学んだことを活かし、摂食嚥下障害のある患者のケアを実践していきたいです。



トロミ付きの水をつくって試飲





## 看護学科学生へのキャリアデザインプログラム 看護職として自らのキャリアデザインを描く



講師の徳原先生

11月28日、本学附属病院出身の徳原純子氏を講師に迎え、本学の4年生等を対象にキャリアデザインのための講演会を行いました。徳原先生は、本学附属病院に12年間看護師・助産師として勤務後、語学留学でカナダに渡り、現在トロントにあるMt.Sinai病院産科分娩部で看護師として働いています。

専門職として看護職以外の業務は行わないという割り切った考えの職場である一方、一か月700件という日本では考えられない分娩件数に対応するという業務にあたっています。

また、長期休暇を利用して日本へ帰国したり、カナダの豊かな土地でカヤック体験を楽しむ等充実した日々を過ごしています。海外で看護師として活躍される方の話は、学生たちにとって興味深かったようで、「海外で働くという選択肢があることに気付いた」という声も聴かれました。



カヤック体験にも挑戦  
(徳原先生撮影)



## 看護師特定行為研修(在宅コース)2次募集



看護師特定行為研修(在宅コース)の2期生8名が、4月よりe-ラーニングでの学習、シミュレーターを用いた手技練習、症例検討、OSCEを経て10月より当院を含め、県内外の12施設での実習を開始しています。

より慢性期に対応した内容を学べる研修内容で、研修生は指導者や各部署のスタッフの皆様の協力のもと、日々経験を重ね、学びを深めながら頑張っています。



現在、令和2年4月開講在宅コース2次募集もしておりますので、ご興味のある方



掲載HPのQRコードはぜひ応募してください。

胃ろうカテーテル交換演習

## 今後のセンター事業

- ☆「実習指導者の教育能力育成プログラム 臨床実習指導者研修」  
日時:令和2年1月10日(金)9:00~11:45/13:00~15:45(2部入替制)
- ☆「遺伝性腫瘍をめぐる診療と看護~遺伝性乳がん卵巣がん症候群を中心として~」  
日時:令和2年1月11日(土)13:30~16:30
- ☆「上級臨床指導者育成プログラム受講者 報告会」  
日時:令和2年1月30日(木)17:30~18:40
- ☆看護学科生へのキャリアデザインプログラム「**A Whole New World** ~新しい奈良医大を見つけよう♪~」  
看護学科3年生と看護部リクルートメンバーとの交流会  
日時:令和2年2月27日(木)15:00~16:45、2部:17:15~18:30
- ☆「特定行為研修生・チェンマイ大学病院看護研修修了者 報告会」  
日時:令和2年3月18日(水)17:30~18:40

